



2019年7月5日，本中心與日本中部大學國際關係學院及人文學院於中部大學舉行學術交流協定簽署儀式。由雙方代表林立萍主任及國際關係學院長太田明德與人文學院長柳谷啓子簽署協定。林主任表示：「本中心能與中部大學簽訂學術交流協定，在連結研究者上是非常有意義且珍貴的機會。期許今後可以和東亞各地的研究者推展更進一步的交流。」太田院長與柳谷院長也表示：「藉由簽署這樣的協定，我們希望今後能為學術研究展開更寬廣的視野，並期許兩校間能有更深層的交流。」

2019年7月5日、台湾大学日本研究センターは中部大学にて、中部大学国際関係学部及び人文学部との学术交流協定調印式を締結した。調印式では、双方代表の林立萍センター主任及び太田明徳国際関係学部長と柳谷啓子人文学部長が署名した。林主任は「中部大学と学术交流協定を結ぶことができたことは、研究者間の横の連携において非常に意義があり、かつ貴重な機会です。今後は東アジア各地の日本研究者と更なる交流を目指します」、太田学部長及び柳谷学部長も「協定締結を通して、学術研究の視野を広げること、両大学間の交流が深まることを期待します」と、それぞれ挨拶した。

# 台湾大学・中部大学学术交流協定調印式

2019.07.05

8



▲致贈臺大紀念瓷盤予中部大學社本雅史副校長



此外，林主任以「臺灣大學日本研究中心的現況—與台灣日本研究現狀的關聯—」為題進行特別演講。演講分為兩大部分，第一部分介紹台灣從過去至現今的日語教育狀況、台灣與日本國民互相的認知狀況，第二部分介紹日本研究中心目前為止的實績並說明目前台灣的日本研究現況。林主任指出，目前台灣的日本研究有諸多難處，但仍期許未來能藉由日本研究中心的這個平台增加知台・知日者，加深東亞日本研究學者間的聯繫。◆

さらに、林主任は「台湾大学日本研究センターの活動—台湾における日本研究の現状と関連させて—」と題する特別講演を行った。講演は二部に分かれ、前半は現在に至るまでの台湾における日本語教育の状況と、台湾人と日本人の相互認識について紹介し、後半は本センターの活動成果を紹介し、台湾における日本研究の現状を説明した。台湾の日本研究はさまざまな困難に直面しているが、本センターの活動により、知台・知日者を増やし、東アジア日本研究者間の繋がりを深めていきたいと締めくくった。◆